

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年7月31日

【【評価実施概要】】

事業所番号	2792500015
法人名	社会福祉法人 池田暁明館
事業所名	グループホームポプラ神田
所在地	池田市神田1丁目18-24 (電話) 072-752-8123
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 7月 15日

【情報提供票より】(平成 20年 5月 22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 5月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	8人	常勤 6人, 非常勤 2人, 常勤換算	4.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3 階建ての 2 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000円	その他の経費(日額)	1,250円	
敷金	有 (300,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (400,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500円			

(4) 利用者の概要 (平成 20年 5月 22日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	9名	要介護2		5名	
要介護3	4名	要介護4		0名	
要介護5	0名	要支援2		0名	
年齢	平均 84.61歳	最低	72歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	協立病院、望月病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域で特養やグループホーム他各種の介護保険サービス事業を手掛ける社会福祉法人が2年前に別法人から引き取って運営しているグループホームで、デイサービスセンター、ケアプランセンターが併設されています。『生活者と家族及び職員等との、日常的で楽しく、安全な「生活の場」』『地域住民、ボランティアとの「交流の場」』『高齢者介護における、実践と情報発信基地としての「高齢者福祉拠点の場」』等をホームの理念とし、『明るく 楽しく 前向きに』をスローガンとして掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。地域で民生委員と地域交流会を毎月共催し、ボランティアも受入れて、地域住民の地域活動の拠点になっています。住宅地にあるホームで、広いウッドデッキのベランダのある庭では、花や木を育て、野菜づくりをし、室内にも花の鉢や生け花が飾られ、利用者や来訪者に豊かな雰囲気を感じさせています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。運営推進会議をスタートさせ地域との交流が深まりました。また同業者とのネットワークに参加し相互交流が始まっています。ケアカンファレンスも充実させた結果、ケアプラン見直しが進みスムーズになりました。災害対策についても、災害時を想定した避難訓練を実施しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は管理者と一部の職員で話し合い作成しています。職員全員がかかわり、議論をしての結果とはなっていません。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員、地域の代表、利用者、家族の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明をしています。地域の行事への参加やボランティアの受け入れを増やすこと等地域との交流の深め方について意見を交わし、相互の理解に努めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。月間の行事予定表も送付しています。家族とは面会時だけでなく、家族の参加する行事の時や年2回の家族会において、家族の思いや希望、不満を表せるようにしています。退院時には医師と家族を含めたサービス担当者会議を開いています。また苦情箱も設置しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	月1回、1階デイサービスの場所で地域の民生委員と共催で地域交流会を実施しています。地域交流会にはボランティアも参加して、食事会や体操、レクリエーション、演奏会等を行っています。法人の行事に地域の人を招待したり、運動会や祭り等の地域の行事に利用者も参加したりする等、住民と交流を図っています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『生活者と家族及び職員等との、日常的で楽しく、安全な「生活の場」』『地域住民、ボランティアとの「交流の場」』『高齢者介護における、実践と情報発信基地としての「高齢者福祉拠点の場」』等をホームの理念とし、『明るく 楽しく 前向きに』をスローガンに掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例のユニット会議や毎日の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	月1回、1階デイサービスの場所で地域の民生委員と共催で地域交流会を実施しています。地域交流会にはボランティアも参加して、食事会や体操、レクリエーション、演奏会等を行っています。法人の行事に地域の人を招待し、運動会や祭り等の地域の行事に利用者も参加する等住民との交流を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。運営推進会議をスタートさせ、その結果地域との交流が深まりました。また同業者とのネットワークにも参加し相互交流が始まっています。ケアカンファレンスも充実させた結果、ケアプラン見直しがスムーズになりました。災害対策についても、災害時を想定した避難訓練を実施しています。自己評価は管理者と一部の職員で話し合い、作成しています。ただし職員全員がかかわり、議論をしての結果とはなっていません。	○	自己評価は職員全員が評価の意義と狙いを理解することが大切であることから、今後は全職員が議論に参加しながら作成することが求められます。
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、社会福祉協議会職員、地域の代表、利用者、家族の参加のもとで、2ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明をしています。地域の行事への参加やボランティアの受け入れを増やすこと等、地域との交流の深め方について意見を交わし、相互の理解に努めています。		
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当職員への運営状況の報告や地域包括支援センターとの情報交換を行うとともに、市の介護相談員を受入れ、サービスの質の向上に取り組んでいます。市との連携の深さを示す例として、利用者の百歳を祝う法人のイベントに市長が参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。月間の行事予定表も送付しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、家族も参加する行事のときや年2回の家族会において、家族の思いや希望、不満を表せるようにしています。退院時には医師と家族を含めたサービス担当者会議を開いています。また苦情箱も設置しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員数に比べ、退職者の割合が多くなっています。新人職員の採用と法人からの転入によって補充していますが、退職者が続き利用者への影響が懸念されます。	○	利用者がそれぞれの馴染みの職員による支援を受けられるよう、異動や離職を最小限に抑え、全職員がチームワークを組んで利用者に接することが求められます。新しい職員も含め、全職員がチームを組んで利用者に接する大切さを理解し、利用者が馴染みの職員から支援を受けることが望まれます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に参加するとともに、職員それぞれの階層ごとに充実した法人内研修を計画的に実施しています。採用時研修も実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	池田市のグループホーム連絡会を立ち上げ、2ヶ月毎に相互訪問をして情報交換やサービスの質の向上のための取り組みをしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来訪したり、体験入居するなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるよう取り組んでいます。入居後も利用者同士の交流を支援したり、職員がじっくり話を聞いたりするなど、馴染みの関係づくりに工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。うどん作りの上手な方、元僧侶で書道の上手な方、菜園での野菜栽培の好きな方等、利用者の得意な分野において、家事や行事の機会を通し学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族や利用者からの聞き取りは行われていますが、その後の毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や意向など、新たな気付きの記録と整理がなく、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみ方の希望が十分把握できていない状況です。	○	毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や意向など、新たな気付きを記録・整理し、日々のケアや暮らし、楽しみに生かしていくことが求められます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや、心身の状況を把握し、医師の意見、家族や利用者の思いや要望を反映させた介護計画を作成しています。介護計画については家族の承認も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。毎月、担当職員による介護計画実施状況の評価と全職員が参加するサービス担当者会議を開いてケース検討を行っています。サービス担当者会議には医師や家族が参加することもあります。3ヶ月毎に計画作成担当者はモニタリング結果の総括表を作成して介護計画の見直しにつなげています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	家族の希望で通院介助をして います。地域のボランティアの 支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	協力医療機関の医師による往 診医療を受けていますが、診 療科目によっては入居以前か らのかかりつけ医療機関より 、引き続き医療を受けていま す。協力医療機関と連携し、 夜間や急変時の対応について の体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方 針の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	ホームでは看取りを実施せず 、法人全体で対応するという 方針は入居時に家族に伝えて います。利用者が実際に重度 化した場合、利用者や家族、 かかりつけ医と連携をとりな がら話し合い、状況の変化に 合わせて対応していく予定で す。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく、やさしい雰囲気です。ただ昼食後のトイレ誘導時に、職員の発する言葉の内容や語調に利用者の誇りとプライバシーを損ねるような言葉かけが見られました。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。	○	日々の支援の中で、利用者の自尊心を傷つけたり、プライバシーを損ねたりするようなことがないように、日常的な確認と改善に向けた取り組みが求められます。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。起床時間に合わせた柔軟な朝食の時間、希望に合わせた入浴の時間が設定されています。また急な外出希望等についても柔軟に対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常、食事は調理済みの食材を併設のデイサービスの厨房から取り寄せています。利用者は食事準備、盛り付け、後片付け等の一連の作業において得意な分野で積極的に参加しています。月1回の食事とおやつについては好みのメニューを決め、買い物から調理までの一連の作業にも利用者が参加し楽しんでいきます。職員は利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。菜園で収穫した野菜や果物を食べることもあります。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望によっていつでも入浴が可能で、毎日入浴している利用者もいます。通常週3回はゆっくり寛いだ入浴を楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担しながら張り合いのある生活を送っています。利用者はそれぞれ書道や将棋、麻雀、菜園での野菜や花作り、収穫を楽しんでいます。ボランティアを受け入れフラメンコやフラダンス、ギター演奏、日本舞踊、折り紙を楽しまれています。フラワーアレンジメントと称して、毎月全員で季節の花を生けて、リビングや居室に飾っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な周辺散歩や買い物以外に、中央市場やスーパーへの買い物、動物園やいちご狩りを楽しんでいます。個別な支援としては、昔利用者が事業をしていた工場へ一緒に訪れたり、遠隔地の家族が帰阪の折、家族との3日間の外食の支援をしたりしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドア、エレベーターは開放されています。外出願望には見守りで対応しています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えるマニュアルを作成し、年2回消防署の指導で避難訓練を実施しています。非常・災害時の食料品と水の備蓄については最低限の対応はできています。今後、「非常用備蓄マニュアル」等の作成が望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、併設のデイサービス厨房の管理栄養士のアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム玄関前の道路からは菜園のある庭、ウッドデッキの洒落たベランダが見え、玄関にはベンチや花があって訪ねやすい雰囲気になっています。ベランダに面した明るいリビング兼ダイニングルームは利用者の好みに合わせたテーブル配置で、ソファやマッサージチェアが置かれ、書道作品や季節の花、風物の貼り絵や行事写真が飾られています。さらに別の場所に畳が敷かれた一角があり、ソファや机、椅子が置かれ、寛げる居場所になっています。全体としてゆったりとしていて、落ち着きと生活感のある空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が整理ダンス、飾り棚、鏡、椅子、テレビ、時計、手作り作品、新聞、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、安心して生活できる空間になっています。		